

知事コメント

令和4年12月27日(火)

2022 年も残すところ、あとわずかとなりました。新型コロナに関する年内最後の記者会見となりますので、本日は、次の3点について知事コメントを発表してまいります。

まず、感染状況についてです。県内では先週、2日続けて新規陽性者数が千人を上回ったほか、前週比は引き続き1を超えて推移するなど、感染の勢いは弱まっておらず、増加傾向が続いています。

また、病床使用率は30%を超えており、医療への負荷が徐々に高まっている他、施設内で療養されている高齢者等も増加しております。

県外でも、新規陽性者数が増加傾向にあり、今後、全国的に感染拡大が進み、沖縄へ影響するのではないかと懸念しております。

次に、年末年始の診療体制等についてお知らせします。年末年始は多くの医療機関が休診しますが、12月31日から1月3日までの4日間、診療にご協力いただける発熱外来医療機関のリストを作成しましたので、沖縄県ホームページやリッカに掲載します。事前に電話予約の上、ご利用ください。

小さなお子様をお持ちの保護者においては、急な子どもの対処判断に迷ったときは、こども医療でんわ相談（# 8000 番）までご相談ください。

平日は午後7時から翌朝8時、土日祝日は24時間対応しています。

年末年始の検査体制に関するご案内です。接触者PCR検査センターの浦添会場は、12月31日及び1月1日を除いて検査受付しております。

また、一般無料検査及びワクチン検査パッケージについては、年末年始の期間、一部の検査場所で休止や時間短縮を行っておりますので、開設状況を県ホームページでご確認ください。

なお、抗原検査キットの自己検査で陽性となった方のため、陽性者登録センターは年末年始も運営しますので、是非ご活用ください。

これからワクチン接種対象となる方、まだ未接種の方は、年明けも、個別医療機関や県広域接種センターにおいて、引き続き接種が可能です。年内の接種を希望する場合は、個別医療機関または市町村へお問い合わせください。なお、県広域接種センターにおいては、1月6日から接種を開始いたします。是非、早めの追加接種をご検討ください。

3つ目は、県民の皆さまへ特にお願ひしたいことについてお話しします。これから年末年始にかけて、忘年会や新年会、また、年明けから、若者が集まる機会が増えると予想されます。友人や知人との再会を楽しみにされているかと思いますが、県内では、今年1月に、20代を中心とした急激な感染拡大を経験しています。

現在は、冬休み等をきっかけに、先週末以降、10代から40代の年齢層を中心とした感染者の増加が顕著となっています。

多くの人が集まる会食は特に、感染リスクが高まります。参加予定の皆さまは、参加前の体調管理を十分に行うとともに、事前に検査で陰性確認を徹底しましょう。

また、会食や友人との交流の際には、できるだけ大人数、長時間の集まりを控え、屋内や会話をする場面では、マスク着用をお願いします。

また、発熱、のどの痛み、咳、鼻水など、少しでも症状がある場合、外出や会食は控えてください。なお、風邪症状を認める際には、1週間程度は重症化リスクの高い高齢者、妊婦等には会わないようにしましょう。

年末年始の診療体制等について、お願ひとお知らせです。年末年始は休診となる医療機関も多く、例年、救急外来に多くの患者が殺到し、医療機関においては、大きな負担となります。

そのため、新型コロナだけでなく、一般医療を含めた救急医療を守るため、軽症の場合や検査目的での救急病院の受診は控えるなど、適正な救急受診にご理解とご協力をお願いします。

先週もお伝えしたところですが、警戒レベル2への引き上げにより、外来受診・療養について、県民の協力をお願いします。

具体的には、高齢者や妊婦、透析患者を含め、かかりつけ医がいる方はかかりつけ医を利用し、水分がとれない等、症状が辛い方で受診を希望する方は、県の発熱コールセンター（098-866-2129）へご相談ください。軽症であれば、医療用もしくは一般用と表記された抗原検査キットを活用し、市販薬で自宅療養するようお願いします。

新型コロナによる感染拡大を抑制し、社会経済活動を継続するためには、県民の皆さま、お一人おひとりの協力が必要です。

県民の皆さまにおかれては、寒さで体調崩さないよう、体調管理には十分留意するとともに、基本的な感染対策を継続しながら、どうぞ、良い年末年始をお過ごしください。